



シ○カちゃんペロペロ (^ω^)



キリトさん.....

やっぱり前線に戻っちゃうんですか？

ああ、五日も前線から離れちゃったからな

すぐに戻らないと

そうですね.....

.....あの、キリトさん

私.....



でも私にとっては、キリトさんは運命の人でした
モンスターに襲われた私を救ってくれて
ピナがいなくなって落ち込んだ私を助けてくれて……

キリトさん、言ってみましたよね
私が妹に似てるから助けてくれたって
あ、ああ……
でも……

……シリカ？
私と……ずっとこのまま
一緒にいてほしいです……



私、キリトさんのことが好きです。。。。。。
ほんとに。。。大好きです。。。。。。
シリカ。。。。。。

カアアア。。。。

ご、ごめんなさい。。。。。。
こんなゲームの中の世界でこんなこと言うのおかしいですよ。。。。。。
でも。。。私。。。。。。

目、閉じて。。。。。。



ちゅっ

ん……

(うそ……私、キリトさんとキスしてる……
心臓が壊れちゃうくらいドキドキしてる)

はっ……あ……

あ、あの……キ、キリトさん……その……

君に会ってから

俺は慰められてばかりだったね

い、いえ、そんな……

こないかれた世界にいるのに

君といると、心が安らぐんだ……

シリカ……俺も君のことが好きなんだと思う

あ、あわわわ……

ほ、ほんとですかっキリトさんっ！





でも・・・それでも前線に戻らないと・・・
俺たちが元の世界に戻るためにも

・・・
そうですね

ごめん・・・

いいえ・・・私のわがままで

キリトさんに迷惑かけるわけにはいきません
シリカ・・・



だけど、せめて今夜だけは.....
今夜だけは私と一緒に.....
.....一緒にいて下さい



シリカ・・・俺なんかでいいのか

はい・・・

私、キリトさんじゃなきゃ嫌です

キリトさん以外なんて、考えられないです



カ
ア
ア

だから・・・その、お願いします・・・
わ、私の初めて・・・もらってください・・・

ああ・・・

シリカの初めて・・・俺がもらうよ・・・



あっ。。。。。。

う。。胸、小っちゃくてごめんなさい
牛乳は飲んでるんですけど。。。。。。

そんなことないよ。。。。。。
おれ好みの大きさだよ、シリカ。。。。。。

ドキッ

ドキッ

きゃっ



れろっ

んっ
はっ

あっ……！！
（キ、キリトさんが私の乳首なめてるっ！
うあ……恥ずかしいっ……！！）

あっ……やっ……！！
シリカ、乳首固くなってきた
気持ちいいの？

はっ、ん……はい……
気持ちいいです……っ、あっ……



ぽろっ
ぽろっ

ひし

びし

あつーそ、それ以上はっ。。。。。。!!
だ、ダメっ!!
キリトさんっ、ちょっと待っててくださいっ!!

はあ、あ
シリカ・・・俺のも舐めてくれるか?
あ、はい.....



わっ
わっ

ど
ん

は
う
!!

ひ
ゃ
っ
!
な、なんですかっこれっ!
(お、おっきいっ……)
これが男の人のおちんちん……
わっ、びくんってしたっ!

😊



ふふふ

ふふふ

キ、キキ、キリトさんっ!!

そ、その、男の人って

こんなに大きくなるものなんですかっ?!

あ、ああ・・・興奮するところなんだ・・・

ふああ・・・すごいですね・・・

な、なんか別の生き物みたいです・・・

キリト

あっ...あ...

(さ、さすがに初めてでフェラを頼んだのは失敗だったかな……)

(た、確か前に読んだ本ではこれを啜ってあげると男の人は喜ぶって書いてたよね……でもこんな大きいのは、口の中に入るのかな？が、頑張れシリカっ！)
よ、よろし……い、いきます……

う……

ドキ
ドキ





はむっ.....

うあっ!

(ま、まさか啗えてくれるとはっ!
舐めてくれるだけでも十分だったのに
うっ、でも予想以上に気持ちいいっ!)
んっ.....じゅる.....じゅぶっ.....
れろれろ.....じゅるる、れる.....

はむっ

んっ.....



ああつ、くう……

(キリトさんのもの、硬くておつきい……)

それにすごく熱い……

ちゅぶつ……ちゅう……じゅるる……

あむ、れるれる……じゅぶぶつ……れる

きいとふあん、きもひいいれぶか?

ああ……すごい、気持ちいいよ

こんなの初めてだ……

いゅふ

いゅふ



ふっふっ

じゅ
ぶ
ぶ

じゅ
ぶ
ぶ

びし
びし

ふえっ?

じゅぶ.....れる
ぐちゅ、ちゅぶ.....んっ
うっ.....シリカっ.....っ!
やばっ.....いっ!
もう出るっ!!

んぶ
んぐ





げほ、げほっ
ぶはっ...あ...
ご、ごめんっ!
大丈夫かシリカ??

は、はい...大丈夫です...
(これって...精液...?)
キリトさん、私の口でイッてくれたんだ...)

(なんだろうこの気持ち...
...シリカと...したい)
シリカ...横になって...)

ドロ〜

はあ...
はあ...

はあ...

びしょ

びしょ



んキッ

はぁ...

はぁ...

んキッ

はぁ... はぁ... はぁ...
キ、キリトさん... 私初めてですから
その、優しくしてください...



ひゃあっ! な、なんかさつきよりも大きくなってないですか?
ああ、我慢できなくて.....
キ、キリトさんっ、ちよ、ちよっと待ってくださいっ!
まだ私、心の準備がっ!
ごめん、もう待てないっ

ひゃあっ

ぬっ

にょきっ



ひん、

あうっ!

ひん、

やああっ! いたっ!

キリトさん、痛いですっ!

(さ、さすがにきつい.....
ほんとに全部入るのかな?)

ふる、

シリカ、もう少しで全部入るから
頑張っ

いっ、ひうっ.....っ!

あっ、はああう.....んっ.....っ

も、もう少しっ.....

ジワッ

ギキッ



シリカ、入ったよ全部

は、はい・・・キリトさんの大きいの
私の中で・・・感じます・・・

すごく熱くて、びくんびくんって・・・脈打ってます

はっ

はっ

ふっ

うん、シリカの中めるめるして
気持ちいいから抑えられないんだ
そ、そうなんですか？

それなら、よかったです・・・
動くよシリカ

ひっ

ひっ

びん



ひっ

は!!

あつ……んっ!……ああ……
痛っ……っ!んっ……ふああ……
(なんだこの気持ちよさっ……っ
女の子のまんこってこんなに気持ちいいものなのか?)

ごめんなシリカ
シリカの中気持ち良すぎてっ、止まれそうにないっ
あつ!……っ……はあつ……
キリトさん……んっ!……っ!

グジュ

ズッ



んっ…

はあっ… はあ…

んっ… あああ… んんっ…

あっ… んっ… ひうっ…

(なんだろう、この感じ…
キリトさんが動かした時にジンジンして痛いけど
なにか… 変な感じがする…)

だ、だめだ…

シリカっ!… もう出るっ!

中に出してっ、いいかっ?

あっ!… あああ… んっ…

は、はいっ… キリトさんの好きなところだ…

出してっ… 下さい…

ごちゅ

ごちゅ

ギシ ギシ



ふふ

ふふ

あ

ふふ

ふあああああつっ！やあああああつっ！

あつっ……あついのが……私の中、いっぱいにつ……

あつあああつっ……ま、まだ出てるっ……

あつ……はあ……はあ……

(こんなに出したの、生まれて初めてかもしれない……)

ぐわ

ぐわ



はぁ...

はぁ...

ごめん、大丈夫かシリカ？

その、中出しまでしちゃって...

んっ...はい大丈夫です...

それにキリトさんが気持ちよくなってくれたのでしたら

私は...すごくうれしいです...

(うっ...かわいいっ...)

やばいっ、こんなシリカ見たらまだしたい)

シリカ、体制変えるよ

え？

ドロッ

ヌキッ

びく

びく

やっ！キリトさんっ、このかっこは恥ずかしいですっ！
それに少し休憩しませんか？

俺もそう思ってたんだけど……

(シリカが可愛すぎてすぐにちんこが元気になった……)

とは、恥ずかしくて言えないな……

このままもう一回したいな……

あう……キリトさんがそういうなら……

あ……

やだ……

ヌクッ

ニクユ

痛みは大丈夫か？

はい、だいぶ痛みは落ち着いてきました

ただ、その……キリトさんのものが奥にくるたびに

なにか変な感じがしてきて……

……それって、こんな感じに？



ひゃあああつ！んっ……ふうっ……
キ、キリトさん、急に動かないでくださいっ……
ごめんごめん……

ふっ

ぐんっ

わああ

ぐんっ

ぬらっ

あしっ

ひっ

（でももう気持ちよくなりかけてるんだな
シリカって結構エッチな女の子だったのかも）
じゃあもっと動くよ

はあ.....はあ.....シリカっ
シリカの中、俺のものに絡み付いてきてっ.....
すげえ気持ちいいよっ.....

あ...
んっ
ぐっ

(キリトさん、すごく気持ちよさそう.....
私の中ですごく感じてくれる.....)

あっ.....はあ.....んっ.....
ひゃあああ.....やっ、んっ.....

ヌチュ
ズチュ





あつあああああああ
あつ! ああああ
..... やつ.....
..... んっ..... つ!
.....

びしっ

ひあっ!

んっ!

シユゴ

シユゴ

(あつ.....この感覚.....
自分でするのはまた違った感じ.....
突かれるたびに、頭の中真っ白になりそう.....
この感じが、気持ちいいってことかな.....)



ん、

だめ？！

あ？！

ん

ん

ん

ん

ひゃあつあああつ.....っ！んっ.....
あああつ！.....や、やだ.....イツチャうっ.....！
キリトさんっ.....わ、私.....
イツチャいそうですっ.....ふあああああつ！

お、おれもっ.....っ！



ひん

ああ!!

ひん

ふる

ガッ

ガッ

ああああああ.....で、出てるっ.....っ!

やああああ.....キリトさん.....熱いです.....っ!

くっ.....ふっ.....

はあ.....はあ.....



はぁ.....はぁ.....はぁ.....
もう.....はいらない.....です.....
(こ、これがイクってこと?)
私、キリトさんと一緒にイッチャった.....
SEXってこんなにすごいんだ.....
一人ですると全然違う.....(笑)

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

ガク

ゴポ

はあ……はあ……
でもちょっと意外です……
ん？何が……

う……
いえ、キリトさんがこんなにエッチだったなんて……
ちょっと意外でした……
いや、自分でも意外だった
そこまでエッチなほうではないと思ってたんだけど……





・・・えっ？

あの、キリトさんっ？もしかして・・・

・・・その、まだしたりないんだ

だからあと一回だけ・・・

キリトさんっ待ってくださいっ・・・

わたしもう力はいらなくて・・・

やあ！

ひうううんんっ……っ！あああつ
だっ、だめっ……今は……
私の中っ……敏感になつて……

ふら

はあ……はあ……

(俺の精液とシリカの愛液でぬるぬるだ
何回やっても気持ちいい……
シリカとならいくらでもできる気がしてくる
俺のちんこも全然萎えてこないし)

グ
グ
グ

いい

びん

ほら、見えるか

シリカのおまんこから俺の精液があふれてきたよ
子宮が小さいから入りきらないみたいだな

ふら。

ふら。

や、やだっ……そんなこと
言わないでください……
恥ずかしいです……

ズルル

ひこっ

にゅー

はっ

んっ







やあああつ.....っ!んあああああつ!

そんなにされたらつ.....あああああつ.....!

私のアソコつ、壊れちゃいますっ.....っ!ふあああああつ!

俺、もうイキそう、だ.....っ

シリカも.....イッてくれ.....っ

んっ

キリトさんっ.....っ!あああああああつ!

イクッ.....っ!イクっ.....!

またイツちやいますっ!キリトさんっ!

ぱん

ぱん

ズッ

ズッ

ひあッ!



うああっ!

で、出てるっ.....!!

私の中いっぱいにつ.....っ!

ふああああ.....キリトさんの精液がつ.....

グッ

グッ

グッ

グッ



くうっ……あぁ……
はぁ……はぁ……
あつ……精液、あふれてる……

シリカ、すごい気持ちよかったよ……

ふる。

はぁ……はぁ……
キリト……さん……

ニギヤァァ

はたたっ

ひい

ふる

はぁ……♡

はぁ……

その日は結局キリトさんと2人で、同じ部屋で休むことになりましたけれど、明日になればキリトさんは前線に戻ってしまいます。前線に戻ってしまえば、ほとんど会うこともできないと思うでも、これだけの幸せをくれたのだから大丈夫

キリトさんがこのゲームを終わらせて、現実の世界に戻るその時まできつと我慢できる

だから・・・はやくこの世界を終わらせてくださいね
キリトさん・・・

ふああああ。。。。。

あれ、キリトさん、まだ寝てるんですね

。。ふふっ、キリトさん戦闘時はかっこいいのに

寝顔は可愛いんですね

ちよっぴり早起きして得した気分です

やっぱり早起きは三文の徳ですね



ドキ



い、今なら。。。キスしても起きないかな。。。
ど、どうしよ。。。
寝てる間にキスするのは卑怯かな。。。？
でもでもっ。。。
。。。よし、今なら大丈夫だよ

ドキ

ドキドキッ

が、頑張れシリカ

そっつと、そっつと.....

キリトさんの唇に.....

ドキ

ドキ

ドキ



ん……あ、シリカ……
キツ！キツキツキルトさんっ！



ひこひこ

あ、あのっ！、これはそのっ！！
べっ別にキルトさんが寝てる間にキスしようなんて
思ってたわけじゃなくてですわっ！！
か、顔にゴミがついてたから取ろうかと思ってですわっ！！
お、落ちていてシリカっ



は、はい。。。。。

(あとちょっとだったのに
うすら恥ずかしい)
キリトさんもタイミング悪いよ)



シリカ。。少し話があるんだけどいい？

は、はい、なんですか？

。。。。俺、やっぱり前線には戻らない。。。。



え。。。。。

キリトさんそれって。。。。。

ああ、どこかに家を建てて

そこでシリカとずっと一緒に暮らしたいって思う

あ。。。

その、シリカさえよければの話だけど。。。。。



わ、私……嬉しいですっ！
キリトさんっ！
私、キリトさんのこと大好きですっ！
俺も……シリカのこと、好きだ

ア ア



キリトさん……
ずっと、ずっと私と一緒にいて下さい

ア ア

。。。。。。キリトさん
して。。。。。。ください。。。。。。
喜んで。。。。。。



ほ、ほんとにこのかっこでやるんですか………？

ああ

いや、でも、丸見えて恥ずかしくります………

ああ、でもシリカのここはとても綺麗だから、よく見たいんだ

あう……

カアア……

ううう………

ほんとに恥ずかしいんですからね………もう………

入れるよ

いえ、慣れてないからちよっと苦しいですけど
痛みのほうは大丈夫です
だから、キリトさんのしたいように動いてください

(なんでシリカはこんなにも嬉しいことを言ってくれるんだろう
そんなこと言われたら俺の理性がもたないよ……)
じゃあ、お言葉に甘えて



えっ？ひゃあああああつ……つ！
ふっ、あああああつ……つ！

(うそっ？昨日はこんなに奥まで来てなかったのにっ
おなかの中までキリトさんでいっぱいになった感じっ！)

ズググ……

ストン……

うやうや!!

あ!!

うん。

うん。

ここが一番奥かな？
分かるか？シリカの子宮のところこっこっしてるの？
はっ、はい……キリトさんの、奥に届いてますっ……
もっと気持ちよくしてあげるからな

すごいな……おまんこの中から愛液がとまらないよ……
どんだん溢れてきてる……
やつ！そんなこと言わないでっ、下さいっ……
ああああ！ひうっ！ああっ！
ふっ、深いっ……っ！んああああっ……

がにゅっ
にゅっ

(うおお、これはやばいっ
昨日よりも奥まで突くと、全体が刺激されて気持ち良すぎるっ
まずいな、もう射精感が来てるっ
くっ……ううっ！)

んあ……
は……





ひやううううっ! あああああつ! はああつ.....
あ、熱い精液いっぱい出てるっ.....!
頭.....真っ白になっちゃいます.....

ああ!!

ちゅん

ちゅん

え？
…………キリトさんもう一回、できますよね

もっと、キリトさんのこと感じたいです
今度はキリトさんを見ながら……………
だから、もう一度私のアソコに……………入れて下さい……………

…………じゃあ、もう一度……………



こ、こうですか………？

ああ、そうやって自分で足を開いて……

俺にシリカの大事なところが見えるようにして

そうしてくれると興奮する………

………キリトさん変態っぽいです

どじろ……

う………





（scribble）

うっっっ……

なんかキリトさん、どんどん性格変わってきてませんか？

そうかもしれないな……

でも、シリカがエッチで可愛いのがいけないんだよ

キリトさんが前より意地悪です……

いれるよ、シリカ……

あああああつ。。。。。。！

は、入ってくる。。。。。。

キリトさんのおちんちんがっ、私のアソコにつ。。。。。。

(ダメ。。。。。。昨日と違うっ！)

入れられただけなのに。。。。。。感じすぎちゃうよ。。。。。。

ひっ、♡

あっ♡

ひっ、

あっ♡

ひっ、

あつ、

ズン、ズン、

キリトさん。。。。。。たくさん動いてください

はあ。。。。。。はあつ。。。。。。

ギョッ

ひゅっ♡

ひゃあああつ……。つ！
はああつ……。あああああ……。つ！
気持ちいいんですつ、キリトさんつ……。
やっぱり私、キリトさんの言うように……。つ
エッチな女の子に……。なっちゃったんでしょか？

ズキ
ズキ

ズキ
ズキ

ギョッ

かもな……

でも俺としては、エッチな子は歓迎だよ

シリカの綺麗な体、もっと見せてくれ

は……。はい





ああっあああ！ イツちゃうっ……おまんこイツちゃうっ！

キリトさんっ……私っ、わたしっ！！

ああっ、イツてくれシリカっ

俺も一緒にイクからっ……

は、はいっ……

んっ♡

だめっ！！

イツく……っ！

もっ……ダメっ……っ！

イツちゃいますっ！！

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

オシ



うわっ

ああああ!!

くっくっ...!!

ふああっあああ...

あああああつ! ああああああつ!

うわっ

アッ

アッ

アッ



ハッ

はぁっ……

はぁっ……

はぁっ……
盛大にイッたな……
はぁ……

はい……
頭の中が真っ白になって……
何も考えられなくなっちゃいました……

イル
イル

ひっ
ひっ

↑

ド
↑

キリトさんも気持ちよくなってくれたんですね

こんなに私の中に出して……

シリカとのSEXなんだから

何回やっても気持ちいいよ

ふふっ……恥ずかしいけど、嬉しいです
でも、今日はじつまでです

ひん

ひん



え？もう終わりなのかな？

はい……今日はキリトさんと一緒に住む家を探しに行かないと

そうか……そうだな

今日のうちにいいところを探しに行かないとな……



じゃあせめてもう少しだけこのままでいさせてくれないか
こうしていると気持ち安らぐんだ。。。。。

ふふっ、仕方ないですね。
もう少しだけですよ。。。。。
あんまり長くこうしていると風邪をひいちゃいますからね
大丈夫だよ、こうしてくっついとけばあったかいからな



.....キリトさん

私、ここに来てよかったです

最初にこの世界に来たときは後悔しました
こんな命がけのゲームに参加してしまって
今まで怖い思いや、辛い思いもしました.....

シリカ.....

でも.....

この世界に来たおかげでキリトさんに会えました

そしてこうして一つになれました.....

だから.....この世界に来て、ほんたによかったです



キリトさん………

もしも、現実の世界に戻ることができたら
すぐにキリトさんのこと探しに行きます
絶対に見つけて見せますから

いや………

俺のほうが、先にシリカのことを見つけてみせる
絶対にな………

ふふっ、じゃあ競争ですね

負けないぜ………

キリトさん………大好きです



こんにちわ

サークル POETTO のハリユーです

この度は「シ〇カちゃんペロペロ(´ω´)」
を手にとっていただきありがとうございました。

シ〇カちゃん登場少なかったです(><:)

こんなにかわいいのに1話だけで…

なので好きにやらせてもらいました^^

満足したのでおっけいです

ただこの子は服の細部がどうなってるのか
分かりづらかったので間違ってるところが多いかもしれませんが

できればそっと目を背けてやってください

それでは、また機会があればお会いしましょう♪

ハリユーでした☆



<http://mennma.x.fc2.com/>